

# 光と風と

☆第21回  
 ☆発行 医療法人 愛の会  
 下関市長府才川2丁目21-2  
 TEL.083-248-0254  
 FAX.083-248-0441  
<http://www.tip.ne.jp/koufuen/>  
 ☆印刷 株式会社アート

毎年恒例

## お花見開催

今年の桜もみごとに咲き誇り、4月4日、毎年皆さんが楽しみにされている「お花見」が行われました。

当日は、皆さんに春の陽気を感じていただく予定でしたが、なんと、あいにくのしとしと雨。

室内に切り花を飾っての開催となってしまいました。そんな悪天候の中、たくさんのご家族がお弁当を手に参加され、患者さん・利用者さんと一緒に召し上がられていました。いつものお食事よりも一味も二味もおいしく感じられたのでしょうか、皆さんの笑顔も桜同様、満開となってました。



お花見弁当

### 医療法人愛の会

#### ◆光風園病院◆

●診療科目  
 内科、呼吸器科、循環器科、皮膚科  
 リハビリテーション科  
 ●病棟  
 回復期リハビリテーション病棟：50床  
 特殊疾患病棟……………60床  
 医療療養病棟……………60床  
 介護療養病棟……………40床

#### ●スタッフ数

医師7人、看護・介護スタッフ14人、リハビリスタッフ33人、その他73人、合計254人

【お問い合わせ先】TEL083-248-0254

#### ◆介護老人保健施設 さくら寮◆

##### ●サービス内容

入所療養介護、短期入所療養介護、通所リハビリテーション

●入所定員 50人

●通所定員 20人(二日につき)

##### ●スタッフ数

医師1人、看護・介護スタッフ31人、リハビリスタッフ2人、その他10人、合計44人

【お問い合わせ先】TEL083-248-5211

#### ◆光風園訪問看護ステーション◆

##### ●サービス内容

病状の観察、清潔援助、食事指導・管理、排泄の介助・管理、カテーテル等の管理と床ずれの予防・処置等、ご家族への介護支援・相談

##### ●スタッフ数

看護師5人

【お問い合わせ先】TEL083-248-5588

#### ◆光風園病院 リハビリテーション◆

##### ●サービス内容

ご自宅に訪問し、必要なりハビリテーションを行います。

##### ●スタッフ数

医師1人、リハビリスタッフ3人、その他1人、合計5人

【お問い合わせ先】TEL083-248-0254



# さくら寮だより

## 接遇アンケート 結果報告



さくら寮では接遇プロジェクトを組織し、年間を通して様々なテーマを設け接遇の向上に努力しています。

この度、利用者・家族の皆さんはさくら寮の接遇をどのように感じておられるかアンケートを実施し、満足度の点数をつけていただきました。また職員にも自分の接遇がどの程度できているのか、同様に点数をつけました。

	利用者 (23名)				家族 (25名)				職員 (38名)			
	100点	~70点	~40点	~0点	100点	~70点	~40点	~0点	100点	~70点	~40点	~0点
①言葉遣い	50%	50%			68%	28%	4%			66%	34%	
②笑顔	50%	45%	5%		68%	28%	4%		3%	92%	5%	
③意見を聞く	55%	40%	5%		67%	25%	8%		9%	55%	36%	
④挨拶	55%	45%			73%	23%	4%		24%	68%	8%	
⑤全体の接遇	40%	60%			61%	30%	9%			84%	16%	

- ・とても優しい言葉遣いで安心できる
- ・良くしていただき本当に感謝しています
- ・入所者を大事にされている

このような回答をいただく等、全体として高い評価をいただく一方で、

- ・職員間の話し声が大きく聞き苦しい
- ・馴れ馴れしい言葉遣いをしている
- ・希望を聞いてくれない

などのご意見もありました。

また、⑤全体の接遇に対する回答と他の①~④の回答を比較すると、⑤の方が低くなっており利用者・家族・職員とも、接遇とは言葉遣い・笑顔・挨拶ばかりでなく、職員が持つ雰囲気・態度など非言語によるコミュニケーションをも含めて感じておられるのではないかと考えられます。接遇は非常に幅広く際限のないものですが、これからも一人ひとりの尊厳を大切に、接遇の向上に努めていきたいと思っております。



練習風景



# 新入職員のための 研修を企画



今年の4月、当法人には33名の職員が入社してきました。

研修は、最長で5日間に及び、病院の理念や医療人としての接遇マナーに始まり、各職種の活動方針や指針などをわかりやすく説明し指導する基礎研修と、看護やケア、リハビリテーションの知識・技術を手順書に基づいて指導する部門研修を行ないました。

意気揚々と入社した職員が一日も早く職場に慣れ、当法人の戦力として力を発揮することを願っています。



高齢者の人口が増えつつある日本では、認知症はとて身近な存在になっています。今回のリハビリ教室では、認知症の症状や、介護をする上で大切な認知症ケアのポイントなどを紹介していきたいと思えます。一緒に認知症について理解を深めませんか？

## 第22回リハビリ教室

### 認知症の理解を深めよう

～介護に役立てるためには～

高年齢者の人口が増えつつある日本では、認知症はとて身近な存在になっています。

今回のリハビリ教室では、認知症の症状や、介護をする上で大切な認知症ケアのポイントなどを紹介していきたいと思えます。

一緒に認知症について理解を深めませんか？

**日 時** 平成21年5月30日(土)  
14:00～15:00  
**場 所** 長府東公民館2階視聴覚室(予定)  
**料 金** 無料  
**講 師** 光風園病院 言語聴覚士  
**そ の 他** 送迎はありません  
**申し込み** 光風園病院 総務課  
TEL 083-248-0254  
担当◇山西・奥田

申し込み締め切りは、5月23日(土)とさせていただきます。

## ラップ療法/OpWT講演会

【OpWT(開放性温潤療法)】

平成21年4月3日(金)下関医師会館にて最新の創傷治療法「ラップ療法」の開発者、鳥谷部俊一先生による「進化を続ける梅毒のラップ療法/OPWT講演会」がありました。

当法人では平成18年より取り組んでいます。8名が参加し、改めて最新の知識を教えていただく機会となりました。

講演に先立ち、当院を見学された鳥谷部先生より、スキンケアチームの取り組みについて、高い評価をいただきました。当法人ではラップ療法が定着し確かな治療効果をあげています。この講演を期に、一層スキンケアのレベルUPに取り組んでいきます。





## 第21回 — 心筋梗塞 —



光風園病院 副院長 藤田 博司

去る3月22日、東京マラソンに参加したタレントが、突然意識をなくして、一時危篤状態となったニュースが流れましたがご存知ですか。病名は「心筋梗塞」でした。

心筋梗塞は心臓を取り巻き、心臓に栄養を送る冠動脈と言われる血管が動脈硬化のため細くなり、そこに血栓(血の塊)が詰まり血流が塞がれることによって起こる病気です。日本でも、年間およそ15万人発症しているといわれています。また、その致死率は30~40%といわれ、そのうちの半分の方は病院到着前、または発症2時間以内に亡くなっています。

心筋梗塞の症状は、胸の中心部から左胸にかけて、あるいは上腹部、左腕に広がる締め付けられるような強い痛みです。時に、吐き気や冷や汗、強い恐怖感を伴います。狭心症と異なり20分程度で軽くなることはありません。それも、必ずしも運動中におきるわけではなく、安静にしているとも発症します。

このような症状が出たときは我慢せず、安静にして

すぐに人を呼び救急車を依頼することが大切です。居合わせた人は、救急車が来るまで患者さんを仰向けにし意識や呼吸、脈拍をしっかり観察してあげてください。もし、完全に意識がなくなるようであれば心臓が止まった可能性がありますので、心臓マッサージや、最近では人の集まる場所に設置してあるAED(自動体外式除細動器)を使用します。これらについては、一度消防署などが行う研修を受けておくと良いと思います。

治療としては、冠動脈に通した管(カテーテル)を使って、狭くなった場所を風船で広げます。また、程度によっては冠動脈バイパス術という手術の適応になります。とにかく、早く専門病院に到着すれば、死亡率は10%から20%まで下がるといわれています。

心筋梗塞は、喫煙、高脂血症、高血圧、肥満、糖尿病が危険因子となります。

適度の運動と食生活、禁煙など日ごろの健康管理を大切にしましょう。

### 編集後記

小さい町工場のお花見を見ることがあります。ビールケースにコンパネをのせて、紙コップ、桜の枝さしで、とても素敵な笑顔で乾杯でした。今年も、当法人のお花見はあいにくの雨でしたが、それだけの患者さんが笑顔になっただけか、気になります。月並みですが、「二つ心にこめて」という言葉を大切にしたいと思います。

お知らせ  
**関門医療センターが  
 長府に移転してきました**

移転に先立ち、安部元首相らと並んで当院長の木下毅が関門医療センターのテープカットを行いました。新病院は、当院から車で10分程度の距離になり、これまで以上に連携が取りやすくなります。救急治療や癌などの急性期治療を得意とする400床の関門医療センターと、リハビリテーションや高齢者の慢性期医療では全国的に評価の高い210床の光風園病院と性格の異なる二つの医療機関が協力することで、長府地区に限らず下関の地域医療に更に貢献できるよう努力していきます。



▲ 院長 木下 毅